真中PTAだより

あきやま

第98号

目次

【1P】真中教育の日
【2P】第41回合唱コンクール
【3P】創立40周年記念式典
【4P】各学年の様子
【5P】1，2年生の活躍
【6P】PTAを卒業される皆さんより

3年 進路激励会

真中教育の日

1年 職業講話

2年 高校生に学ぶ会

発行／真室川中学校ＰＴＡ広報部　発行日／令和６年３月13日　印刷／(有)みどり印刷

真室川町立真室川中学校 創立40周年記念式典

40年分の卒業アルバムが会場に並べられ、参加者の皆さんはそれぞれの思い出を振り返っていました。

「キミは最強で無敵の存在です」

講師 にしだ産業医事務所 医師 西田 稚子 氏

創立40周年記念式歌「結」

作詞 佐藤 和香
作曲 柴田 玄理

教室の扉開いたらほら
挨拶で咲く 笑顔の花
共に学んだ 共に歌った
それぞれ 目指す道が 違う
僕らが共にした 奇跡のような時間
一瞬の青春は 一生の宝物
「僕なんか」いつからか口癖
忘れ物は 自分の褒め方
共に学んだ 共に走った
たまには 転んだ日もあるね
転び続けて 僕が落とした 自信
拾ってくれたのは いつもそばにいた君
それぞれ 目指す道が 違う
僕らが共にした 奇跡のような時間
一瞬の青春は 一生の宝物

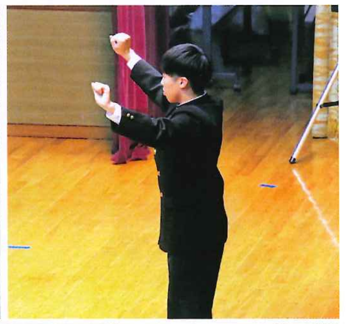
※作曲の都合上、一部を改変しています

真室川中学校
令和5年度合唱コンクール
スローガン

心を結ぼう 138人の 感動の歌声

第41回 合唱コンクール

最優秀賞	3年B組	「友～旅立ちの時～」
優 秀 賞	3年A組	「虹」
指揮者賞	3年B組	姉崎 悠真さん
伴奏者賞	3年A組	庄司未菜美さん
	3年B組	佐藤 輝空さん



1,2年生の活躍

バドミントン部

バスケットボール部

サッカー部

柔道部

野球部

吹奏楽部

ソフトテニス部

陸上部

1年 宿泊学習

2年 修学旅行

3年 職場体験

そして伝説へ

PTA会長　高野　光輝

皆様には、日頃からPTA活動に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。皆様方のご協力により、今年度のPTA活動もあと残りわずかとなり、総括の時期を迎えようとしています。

今年度は、コロナが第五類となり、活動が徐々にコロナ前のようなPTA及び子ども達と繋がりを持てるような活動ができるようになった事と皆様方の御尽力により、創立四十周年記念式典を無事に開催出来た事が何よりもの成果であったと思います。

真室川中学校の四十年間の学校活動やPTA活動に対しての想いを馳せ、子ども達中心の愛情のこもった活動が綿々と受け継がれて今日を迎えていると感じたところでした。今年度の活動が真室川中学校PTAの歴史の一ページとなって五十周年を迎えた際の伝説として語り継がれれば幸いです。

PTAに対しての様々な意見はございますが、活動を通じて視野を広げる事ができ、子ども達の元気を貰える強みが役員にはあると思います。

PTAを卒業される皆さんより

支葉碩茂

小野　孝幸（孝介）

あんなに小さかった息子が、私を追い越すまでに大きく成長し、頼もしい限りになりました。また、部活動のバスケットボール部では、新人戦や中体連で地区優勝の栄光に輝き、大きな感動と、うれし涙を与えてもらいました。ご指導して頂いた先生方や、支えてくれた同級生に感謝しています。

コロナと過ごした三年間

川又　孝幸（一輝）

入学した当時は、コロナ禍の真っ只中で、もどかしい日々を過ごしていました。我が子はサッカー部に入部し、仲間と共に厳しい状況の中、創意工夫して打ち込んできました。特に新人戦で県二位になったときの歓喜は今でも忘れません。卒業後もこの時の事を忘れずに精進して下さい。

卒業にあたり

庄司　勲（祐二郎）

ご卒業おめでとうございます。思い起こせば、あっという間の三年間ではなかったでしょうか。その中でも新型コロナの蔓延という不測の事態もありました。

PTAを卒業ということで、淋しい思いもするのですが、高校という新たに始まる環境で、子どもと一緒に楽しみたいと思います。

あっという間の三年間

丹波　理香（理愛）

中学校三年間は、一年毎に終わりが早く感じられました。

その中学校生活は、コロナ禍でマスク生活が始まり、行事ごとが制限された中、先生方のサポートのおかげで大成功に終わることが出来ました。有り難うございます。

毎日忙しかったけれど沢山の思い出ができました。

コロナ禍での生活

齋藤　和恵（莉々花）

コロナ禍で始まった中学校生活も間もなく終わろうとしています。私にとっても最後の真中生徒となる子どもでしたが、つい最近までは制限の中での活動でした。その中でも、修学旅行や運動会等の開催ができた事を嬉しく思います。

これからは全てにおいて明るい活動ができる事を期待しています。

大海原の大冒険

安彦　久美（遼太朗）

ようやく波は、落ち着いてきた。
るビーのような大きな目を輝かせ
いつも前を見据えている。出航し
てから、大波小波を数々越え、そ
して嵐に耐えてきたのだろう。色
んな思いを紡ぎながら、舵を取り
えい光を勝ち取った姿は誇らしい。
うみのように広い心で、この先も
お互いを高め合おう仲間と共に。

編集後記

今回の広報は、創立四十周年とたくさんの行事で活躍する生徒の様子を掲載することができました。

来年度も、皆様のご協力のもと、子どもたちの様子をたくさんお届けできるよう、広報部一同頑張りたいと思います。一年間ありがとうございました。

広報部長　佐藤　剛